

保 健

I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領(平成29年3月)に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「本県教育が目指す人間像」の育成に資する内容、構成となっているか。
	(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されているか。
	(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。
	(3) 主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されているか。
教科 独自 観点	(4) 健康の大切さを認識するとともに、家庭や学校における毎日の生活に関心を持ち、健康によい生活を続けることについて理解を深める内容、構成になっているか。
	(5) 年齢に伴う発育・発達の変化及び個人差と思春期の体の変化などについて理解を深める内容、構成になっているか。
	(6) 心は年齢とともに発達すること及び心と体は相互に影響し合うことや、不安や悩みへの対処の仕方などについて理解を深める内容、構成になっているか。
	(7) けがが発生する原因や防止の方法について理解できるようにするとともに、けがの簡単な手当てができるような内容、構成になっているか。
	(8) 病気の発生要因や予防の方法、喫煙、飲酒、薬物乱用が健康に与える影響についての理解を深めるとともに、地域において保健にかかわる様々な活動が行われていることについて理解を深める内容、構成になっているか。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長	
共通 観点	(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに豊かな記述内容となっているか。
	(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

II 選定資料利用上の留意点

- 1 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 2 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 3 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

Ⅲ 具体項目

観点	発行者	東 書	大日本	文教社	光 文	学 研
<p>教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) 教科の特質に応じて、「本県教育がめざす人間的育成に資する内容・構成」の達成しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各章末に学習を広げ、深めるための資料ページを設けたり、知識・理解を促す文章や図、表をステップごとに囲みで示したりすることで、幅広い知識を身に付けることができるよう配慮されている。 「体の成長とわたし」では、赤ちゃんの手形や靴の大きさと、自分の手や靴の大きさを比べることで、生命を尊ぶ態度を養うことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事故につながる危険な場面について、イラストを用いて体験的な活動を示すことで、日常生活の中で周囲の状況をよく見極め、危険に早く気づき、的確に判断し安全に行動できるよう配慮されている。 「はってん」において、「受けつがれていく命」「ともに生きる」の教材を取り扱うことで、生命を尊び大切にすることを養うことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活で起こりそうな事故や犯罪の場面について考える「危険予測」のページを設けることで、きまりを守り、より良い行動をする実践的な態度を養うことができるよう配慮されている。 「体の発育・発達」では、祖父母、父母、自分へとつながる生命をイメージできるイラストを提示することで、生命を尊ぶ態度を養うことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康に生きていくために必要なことを他者とともに考えるコーナーを掲載することで、自らを律し、規則正しい生活をしようとする実践的な態度を養うことができるよう配慮されている。 健康・安全にかかわる身近な課題を掲載することで、節度ある行動をしようとする実践的な態度を養うとともに、公德心の向上を図ることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「もっと知りたい・調べたい」というコーナーを設け、健康に関して多様な観点から、児童が興味をもちやすい情報を与えることで、幅広い知識を身に付けることができるよう配慮されている。 「体の発育・発達」や「心の健康」では、自分の成長を実感したり、個人差があることを理解したりすることで、個性や生命の尊重について考えられるよう配慮されている。
	<p>(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「けんこうというたからもの」「よりよく成長するための生活」等では、本県で盛んな農業・水産業に関係する野菜や魚のイラストを取り扱うことで、地産地消の推進や食育との関連を図ることができるよう配慮されている。 地域のひととの触れ合いの様子のイラストや写真を多数取り扱うことで、地域を調べる活動を促し、本県の地域や郷土への関心が高まるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「よりよく育つための生活」では、給食で用いられる食材を取り扱うことで、多くの種類の栄養素をバランスよく摂ることの大切さについて学習し、地産地消の推進や食育との関連を図ることができるよう配慮されている。 「けがの防止」では、水の事故へ注意を促す看板や、地震や津波の際の避難所の写真を掲載することで、海に囲まれた本県の安全教育との関連が図れるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「体のよりよい発育」では、バランスのとれた食事の例として、農業・水産業の盛んな本県に関係する野菜や魚などのイラストを取り扱うことで、地産地消の推進や食育との関連を図ることができるよう配慮されている。 「けがの防止」では、「地域での安全」として、水の事故をイラストで取り扱うことで、海に囲まれた本県での安全教育との関連を図ることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「自然災害から身を守る」では、地震や津波などの自然災害への対応を学習する資料を取り扱うことで、海岸線が長く、三方を海に囲まれた本県における安全教育との関連を図ることができるよう配慮されている。 イラストで地域のひととの触れ合いや自分の地域について調べる活動を促す資料を掲載することで、本県の地域や郷土を愛する態度が育つよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「よりよい発育・発達のために」では、農業・水産業の盛んな本県において身近な野菜や魚などをイラストや写真を用いて取り扱うことで、地産地消の推進や食育との関連を図ることができるよう配慮されている。 「けがの発生」では、海の事故の状況や自然災害の対応をグラフを基に学習することで、海に囲まれた本県での安全教育との関連を図ることができるよう配慮されている。

III 具体項目

観点	発行者	東 書	大日本	文教社	光 文	学 研
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各項目末に資料を示したり、学習過程において資料の活用を促すコーナーを設けたりすることで、基礎的・基本的な知識・技能の習得ができるよう工夫されている。 学習課題を、調べる・解決する場面では、写真を効果的に示すことで、必要感を伴って、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な生活場面や今日的な健康課題について学習するページでは、実体験を模したイラストを取り扱うことで、実感を伴って理解できるよう工夫されている。 日常生活に運動を取り入れることや適度な運動の大切さを示すことで、運動と健康の密接な関係についての知識・技能の習得が図られるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活を振り返ること、課題に対して調べたことや考えたことを書くコーナーを設けることで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得できるよう工夫されている。 学習内容や学習の流れを見開きで示し、表やグラフの見方や資料の着目の視点を示すことで、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決につながる場面をイラストで示したり、資料の中にグラフを用いたりすることで、基礎的・基本的な知識・技能を実感を伴って習得できるよう工夫されている。 各章末に「学習のまとめ」のコーナーを設けることで、学習内容の振り返りを行い、基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各項目の冒頭に学習課題を明示し、学習内容や学習の進め方を見開きで示すことで、基礎的・基本的な知識・技能を習得する際の助けとなるよう工夫されている。 課題を解決する資料として、「実際に試して確かめる活動」「科学的な資料」を設けることで、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている。
	<p>(2) 育め知識・技能を活用し、判断力・表現力等が養われるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各項目における学習課題を具体的に分かりやすく示すことで、知識・技能を活用しながら課題を解決するための見通しを明確にもって学びが進められるよう工夫されている。 深める・伝える過程において、知識・技能を活用し、筋道を立てて自分の考えを書いたり説明したりするコーナーを設けることで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題を自ら設定できるように、学習の過程を具体的に示すことで、学習に必要な感をもち、見通しのある学習を進めることができるよう工夫されている。 学習の手順を「課題をつかもう」「様々な活動を通して解決しよう」「活用してふかめよう」「毎日の生活に生かそう」に分けて設定することで、知識・技能を活用できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容に応じた学習過程を示し、「やってみよう」のコーナーに、考えをまとめる欄を設けることで、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫されている。 各章末に「わたしの宣言」を設け、今後の自分の健康や体力の保持増進について考えをまとめ、表現することで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決に向けた学習過程で、「すすんで学ぼう」「みんなで学ぼう」「学びを深めよう」の視点を示すことで、主体的・対話的で深い学びに向かうよう工夫されている。 各章に「さらに広げよう深めよう」のコーナーを設け、「運動と保健の関連」「心と体の関係」などを関連付けることで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健の見方・考え方を働かせた学びを促すための吹き出しを随所に設けることで、思考力、判断力、表現力等の育成につながるよう工夫されている。 課題解決に向け、考え議論したり、資料を調べまとめたり、生活につなげたりする多様な解決方法を示すことで、思考力、判断力、表現力等の育成につながるよう工夫されている。
	<p>(3) 主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生活上の問題点に気付くような写真やイラストを提示したり、各章ごとに学習の進め方を示し記述欄を設けたりすることで、主体的に学習できるよう工夫されている。 「つなげよう」では、他学年・他教科とのつながりを示したり、「資料」「はってん」では、日常生活との関連を図ることを示したりすることで、主体的に学習を進められるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各章の冒頭で課題を提示した後で、学習が受動的にならないよう課題解決にせまる体験的な活動に関する資料を掲載することで、主体的に学習できるよう工夫されている。 「もっと知りたい!」「ミニちしき」「はってん」などの読み物や資料を提示することで、個に応じて主体的に学習内容を広げたり、深めたりすることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年に応じた具体的な活動を伴う課題解決の方法を示すことで、学習への動機付けを図ったり、見通しをもちながら主体的に学習したりできるよう工夫されている。 「新しい自分にレベルアップ」「もっとくわしく」「もっと知りたい」のコーナーを設定することで、主体的かつ発展的に学習を進めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各章の冒頭に、自分の生活を振り返る活動を設定し、学習内容とのかかわりをとらえることで、見通しをもって主体的な学習が進められるよう工夫されている。 「生かそう伝えよう」「広げよう深めよう」のコーナーを設定することで、学んだことを実践的に深めたり、発展的な学習を主体的に進めたりすることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 冒頭に学習の進め方を提示したり、課題解決のためのヒントを随所に設けたりすることで、学習への見通しを持ち、主体的に学習が進められるよう工夫されている。 基礎的・基本的な学習内容を基に、「もっと知りたい・調べたい」のコーナーで現代的な課題を提示することで、意欲をもって主体的に学習を進められるよう工夫されている。

III 具体項目

観点	発行者	東 書	大日本	文教社	光 文	学 研
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(4) 健康の大切さや生活に関心をもち、健康によい生活の内容を構成しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「けんこうというたからもの」では、生き生きと活動する児童の写真やイラストを基に学級で話し合い、考えを記述する欄を設けることで、より健康的な暮らし方について具体的に考えることができるよう工夫されている。 「けんこうによい1日の生活」では、健康状態の異なる二人の生活を比較する資料を掲載することで、望ましい生活について考え、自らの生活に生かすことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「1日の生活のしかた」では、生活を振り返りながら問題を考える内容を取り扱うことで、よりよい生活を運動、食事、休養・睡眠の視点から見直し、健康な生活について具体的に考えることができるよう工夫されている。 「けんこうによい生活かんきょう」では、イラストを基に話し合い、経験を出し合うことで、健康な生活のために部屋の換気や明るさの調節が大切であることを理解するよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「体のせいけつ」では、自らの1日の生活を衛生的な観点で振り返る資料を掲載したり、手に細菌や汚れが残っている写真などを提示したりすることで、体を清潔に保つことの必要性を実感的に理解できるよう工夫されている。 「けんこうによい部屋」では、明るさや換気と健康との関係について、対照的な二人の生活を比較する資料を示すことで、生活環境を整えることの大切さを理解することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「けんこうってなに」「けんこうな1日の生活」では、健康である状態を詳しく示す資料で、生活を振り返ることで、対照的な二人の生活を比較しながら、健康な生活について考えることができるよう工夫されている。 「身の回りのかんきょう」では、教室の明るさや換気に関するイラストを見て問題点を話し合うことで、生活環境を整えることの大切さに気付くことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「1日の生活のしかた」で、規則正しい生活の大切さに気付かせるとともに、「もっと知りたい調べたい」のページに詳しい資料を掲載することで、健康な生活についての理解を深められるよう工夫されている。 「体の清けつ」では、手の汚れ調べの実験や細菌の培養の写真、衣類の染め出し実験の写真などを提示することで、清潔と健康との関係を実感を伴って理解できるよう工夫されている。
	<p>(5) 年齢に伴う発育・発達の内容を構成しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「育ちゆくわたしたちの体」では、実物大の手形や靴の写真、人のイラストを活用したグラフなどを提示することで、自分の成長が視覚的にとらえやすくなるよう工夫されている。 「思春期にあらわれる変化」では、シルエットから男女の違いを予想したり、関連する写真や図、グラフを用いたりすることで、体つきの変化や男女の特徴について理解できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「大きくなってきたわたし」では、様々な図やグラフを基に自分の身長の変化に気付く活動を設けることにより、自分の成長が視覚的にとらえやすくなるよう工夫されている。 「大人の体になるじゅんび①」では、同年齢者や保健室の先生の話などを示すことで、個人差があるものの、思春期における男女の体つきの変化を理解することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「体の発育」では、これまでの自分の身長を記録していくコーナーを設けることで、体の発育は、年齢に伴って変化することや個人差があることが理解できるよう工夫されている。 「思春期の体の変化」では、イラストや写真、図、グラフを効果的に提示することで、年齢による体つきの変化や思春期の男女の体、特徴を理解することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「思春期の体の変化」では、イラストやグラフ、写真を用いることで、思春期には体の中でどのような変化が起きているのかを視覚的にとらえることができるよう工夫されている。 「よりよい発育のために」では、骨と運動の関係を写真で示したり、楽しみながら行う運動の資料を掲載することで、体の発育・発達には適切な運動が必要であることを理解できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「変化してきたわたしの体」では、4人の人物の変化の様子を、図と棒グラフを用いて示すことで、体の発育・発達は、年齢に伴って変化することや個人差があることを理解できるよう工夫されている。 「大人に近づく体」「体の中でおこる変化」では、同年齢者や父母の話を示したり、効果的なイラストや写真などを掲載したりすることで、男女の体つきの特徴を理解できるよう工夫されている。

III 具体項目

観点	発行者	東 書	大日本	文教社	光 文	学 研
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(6) 心は年齢とともに発達する。心は年齢とともに発達することや、不安や悩みへの対処の仕方などについて理解を深める内容、構成になっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「心の発達」では、保健の見方・考え方を働かせる発問を示したり、資料を基に考える構成にしたりすることで、人と自然との触れ合いの大切さについての理解が深まるよう工夫されている。 「心と体のつながり」では、心と体の自己チェックを行い、心と体のつながりを考えたり、話し合ったりする資料を示すことで、心と体が相互に影響し合うことへの理解が深まるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「心と体のつながり」では、体調の良い時・悪い時の心の状態について話し合うコーナーを設けることで、心は年齢とともに発達し、体と相互に影響し合うことへの理解が深まるよう工夫されている。 「不安や悩みがあるとき」では、不安や悩みの対処法として「体ほぐしの運動」を示すことで、不安や悩みの対処のために運動をすることは、心の健康につながることを理解できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「心の発達」では、心のはたらかである感情・社会性・思考力の具体例を示し、自分の事としてとらえることで、心は年齢に伴って発達することを理解できるよう工夫されている。 「不安や悩みへの対処」では、「様々な対処方法」と「相談を通して心の健康を保つこと」の2項目で示すことで、不安や悩みに対処するための知識・技能の理解が深まるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「心の発達」では、自分の成長と人とのかかわりの広がりをイラストで示すことで、心の成長は様々な生活経験や学習を通して、年齢とともに発達することが理解できるよう工夫されている。 「心と体の関わり」では、「心が体に及ぼす影響」と「体が心に及ぼす影響」を分けて示すことで、心と体は相互に影響し合い密接な関係があることへの理解が深まるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「心と体のつながり」では、「科学の目」のコーナーを設け、脳と体の各部分とが繋がっていることを科学的に示すことで、心と体は相互に影響し合うことへの理解が深まるよう工夫されている。 「不安や悩みへの対処」では、具体的な場面を基に話し合いながら対処法を見つける資料を示すことで、不安や悩みの対処のために様々な経験をすることの大切さを理解できるよう工夫されている。
	<p>(7) けがが発生する原因や防止の方法について理解できるようにしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「事故やけがの原因」では、学校や身の回りの地域で起こる事故について、イラストを用いて人の行動と環境の両面から考えさせることで、事故は人の行動や環境にかかわって発生していることが理解できるよう工夫されている。 「犯罪被害の防止」では、危険な場所を選択したり、犯罪が起こりやすい遊び場を比較させたりする資料を示すことで、犯罪被害を未然に防ぐための方法を具体的に理解できるよう工夫されている。 「けがの手当」では、パソコンで動画を見ながら実習を行うことができるような資料を掲載することで、けがとその簡単な手当の方法について、実践的に理解が深められるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「けがの防止」では、始めに様々なけがの原因を考え、その後、交通事故やけがの防止を考えさせるという順に資料を示すことで、けがが発生する原因や防止の方法について理解できるよう工夫されている。 「犯罪被害から身を守る」では、事故や犯罪が起きやすい場所を話し合う資料を示すことで、危険を予測し、児童自身が犯罪から身を守るための対処の方法を理解できるよう工夫されている。 「けがの手当」では、軽いけがの手当の仕方をイラストと簡単な解説で示すとともに、パソコンで動画や資料を見ながら実践できるようにすることで、けがの簡単な手当について理解が深められるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「交通事故の防止」では、導入で交通事故が起こりそうな場面を示し、その原因を話し合うとともに、イラストやグラフを提示することで、交通事故の原因を具体的に理解できるよう工夫されている。 「地域での安全」では、犯罪被害が起きやすい場所や場면을イラストで示すとともに、犯罪被害を防止するためのポイントを明記することで、対処の方法が具体的に理解できるよう工夫されている。 「けがの手当て」では、イラストで簡単なけがの手当ての仕方を紹介したり、大けがをした場合など、実際の場面を想定した資料を示すことで、けがの手当てや対処の方法について理解を深められるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「けがの防止」では、危険な行動や安全な環境について、生活に密着した図や写真を用いて考えることで、事故が人の行動や環境にかかわって発生していることやその防止方法を理解できるよう工夫されている。 「犯罪被害の防止」では、被害に遭いやすい場所を話し合ったり、イラストやグラフをもとに危険を予測したりすることで、犯罪被害を未然に防ぐ知識を身に付けられるよう工夫されている。 「けがの手当」では、けがと手当についてイラストで解説するとともに、二次元コードを活用し、動画を見ながら実践できるようにすることで、けがの手当について理解を深められるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「けがの発生」では、学校や身の回りの地域で起こる事故の原因をイラストやグラフを用いて考えさせることで、事故が人の行動や環境にかかわって発生していることが理解できるよう工夫されている。 「学校や地域でのけがの防止」では、危険の予知や環境整備についての写真を複数提示することで、事故や犯罪への未然防止や適切な対処の方法を具体的に理解できるよう工夫されている。 「けがの手当」では、けがの種類や程度など、状況に合った対応の仕方を具体的に示したり、教科書サイトを使って動画を紹介したりすることで、簡単なけがの手当の仕方が実習を通して理解を深められるよう工夫されている。

III 具体項目

観点	発行者	東 書	大日本	文教社	光 文	学 研
2	<p>学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p> <p>(8) 病気の発生源や予防の方法、喫煙、飲酒、薬物乱用が健康に与える影響について理解を深めるとともに、地域において保健にかかわる様々な活動が行われていることについて理解を深める内容、構成になっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「生活習慣病の予防」では、むし歯や歯周病の起こり方の資料を提示することで、生活習慣の違いを比較する活動を促し、偏った食事や間食を避けたり、口腔の衛生を保ったりすることの大切さを理解できるよう工夫されている。 「地域の保健活動」では、地域における保健活動について気付くことができるような写真を提示することで、家庭や学校だけでなく地域においても保健にかかわる様々な活動が行われていることについて理解が深まるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「たばこの害と健康」では、視覚的な資料から受動喫煙の影響について考えを深める中で、断り方のロールプレイングの資料を「活用」に設けることで、日常生活への実践化を図ることができるよう工夫されている。 「地域で行われている保健活動」では、保健所や保健センターで行っている活動を、具体的にイメージできるようにイラストや説明を示すことで、地域において保健にかかわる様々な活動が行われていることについて理解が深まるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「生活のしかたと病気①」では、予防するための運動の例や食べ物に含まれる塩分や脂肪の量を具体的に提示し、その必要性を分かりやすく明示することで、健康によい生活習慣の必要性を理解できるよう工夫されている。 「喫煙（飲酒・薬物乱用）の害」では、豊富な写真やイラストで健康への害を示すとともに、「あなたならどうする？」において、断り方について考える問いを示すことで、実生活において実践を図ることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「喫煙（飲酒・薬物乱用）の害」では、その害を写真やイラスト、グラフから認識できるように資料を示すことで、これらのことが健康に与える影響についての理解を深めることができるよう工夫されている。 「地域の保健活動」では、地域における保健活動を写真で提示し、自分たちの住んでいる地域の保健活動について調べる活動を促すことで、地域においても保健にかかわる様々な活動が行われていることについて理解が深まるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「病気の予防」では、顕微鏡で拡大した写真などの資料を豊富に掲載したり、自分の生活習慣を振り返る活動のコーナーを設定したりすることで、病気の起こり方とその予防の仕方を理解できるよう工夫されている。 「喫煙の害」では、具体的な数値を示した図や表、写真を使って印象付けたり、喫煙・飲酒の断り方のロールプレイングの資料に掲載することで、喫煙が健康に与える影響についての理解を深め、日常生活への実践化を図ることができるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

観点	発行者	東 書	大日本	文教社	光 文	学 研
<p>3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長</p>	<p>(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに豊かな記述内容となっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文章量や資料を多くすることで、情報を充実させている。 目的や内容に応じて、文字の書体や大きさ、太さを分けることで、要点がつかみやすくなるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章量を抑えることで、簡潔で分かりやすく示している。 学習内容を1項目見開き2ページで構成することで、学習内容と学びの手順が一目で分かるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章表現を簡潔にし、重要な内容は書体の大きさ、太さを変更することで、分かりやすくしている。 多様な記入欄を設けることで、書く活動が設定しやすい構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字の書体を主に2種類に絞ることで、見やすく表している。 文章表現を簡潔にすることで、話し合いや対話などの言語活動を設定しやすい内容になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報や文章の量を豊富にすることで、分かりやすくしている。 学習内容を1項目ごとに見開き2ページで構成することで、学習内容と学びの手順が一目で分かるよう工夫されている。
	<p>(2) 写真、挿絵、図表などには、学習内容との関連や学習効果を高めるように配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題や進め方などをマークで統一し、写真や挿絵、図表を大きくすることで、学習の流れや内容が一目で分かるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 記号やマーク、図表は児童の興味・関心を高め、それぞれの内容が分かるように示すことで、課題解決の手がかりとなるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 役割をもったキャラクターの吹き出しや会話を掲載することで、学習を進めていく手掛かりとし、課題解決の支援となるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の必要感をもたせるイラストを示したり、多くの資料を掲載したりすることで、児童の学習意欲を高め、理解を促すよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 円グラフや棒グラフを基本とした統計資料を多数掲載することで、数量的な変化や差異から学習内容を理解できるよう配慮されている。
	<p>(3) 挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> A4判を採用し、描かれているイラストもできるだけ淡く、少ない種類の配色を用いて印刷することで、読みやすさと見やすさに配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> A B判を採用し、全体的に淡い色づかいをすることで、本文の文字も見やすくなるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> A4判を採用し、全体的に文字を大きくするとともに、まとめを枠で囲んだり、色付けしたりして強調することで、視覚的に目立つよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> A4判を採用し、文字を少なく、イラストや図表、グラフを多く用いることで、児童にとって内容を捉えやすい紙面になるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> A4判を採用し、イラストやグラフ、資料を多く掲載し、全体的に淡い色づかいで仕上げることで、落ち着いて学習ができるよう配慮されている。